

「1968年十勝沖地震40年防災フォーラム」報告

平成20年5月10日（土）13:30～16:00、八戸商工会館（青森県八戸市堀瑞町）において、市民向けの行事として日本地震工学会、防災フォーラム実行委員会、弘前大学、八戸工業大学、八戸工業高等専門学校の主催により「1968年十勝沖地震40年防災フォーラム」を開催しました。市民、学生をはじめ、行政、企業などを含め合計220名の参加者がありました。

このフォーラムでは、東北大学名誉教授 柳沢栄司氏、弘前大学教授 佐藤魂夫氏、八戸工業大学教授 佐々木幹夫氏、八戸工業高等専門学校准教授 南将人氏にご講演いただきました。

柳沢先生には、基調講演として「1968年十勝沖地震の被害とこれからの地震防災」について当時の地震被害調査の体験談もまじえた貴重なご講演をしていただきました。佐藤先生には、「地震は予知できるか？」と題目して地震防災に確率論的地震動予測地図を利用する際の留意点についてご講演していただきました。佐々木先生には、「青森県の津波」と題して過去に青森県に被害をもたらした津波についてご講演していただきました。南先生には、「地震からの教訓と防災教育」と題して地震と津波に対する心得についてご講演していただきました。

青森県での開催、市民向けの行事ということもあり、参加予定を100名程度と想定していましたが、予定を上回る方々に参加していただき、非常に盛況なフォーラムになりました。土曜日にもかかわらずご来場いただいた参加者の方々、会場でお手伝いいただいた関係者の方々、共催および後援の方々、貴重で有益な講演をしていただいた講師の先生方に心より御礼申し上げます。



会場入口



柳沢栄司先生のご講演



ポスター展示



講演会場の様子



佐藤魂夫先生のご講演



佐々木幹夫先生のご講演



南将人先生のご講演

(文責：事業企画委員会 有賀義明 弘前大学)